

大 会 宣 言

関東甲信越地区小学校長会連絡協議会は、結成以来、小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を積み重ね、着実にその成果をあげてきた。

今日、知識基盤社会化やグローバル化が進行し、学校教育に対する期待と要請は多岐にわたり、学校が取り組むべき課題はますます多様化している。こうした中、学校の責務を果たしていくため、校長は、児童の健全育成や教育改革への対応など、山積する課題解決に立ち向かっていかななくてはならない。

現在、我が国は、東日本大震災等からの復興という国民的課題をはじめ、少子高齢化の進展、雇用環境の変化、自然災害対策と危機管理の重要性等、重い課題に直面している。これからの日本の担い手となる子どもたちが、人と人との絆を大切にしながら、希望を抱き、困難な課題に立ち向かう気力と知力をもって対応できるよう、校長は、基盤となる「生きる力」の育成に努めなければならない使命を担っている。

今こそ、校長は、これまで以上に、自らの使命に自覚と誇りをもち、未来に向かい、他者と協働しながらよりよく生きようとする意欲と実践力を培う学校経営のために、リーダーシップを発揮していかなければならない。

そこで、私たちは、本大会において、全国連合小学校長会の研究主題「新たな知を拓き人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を受け、「未来を生き抜く知を磨き 絆を強め 学び続ける子どもを育てる学校経営」を副主題として設定し、子どもたちの未来を見据えた教育改革を一層進めていくことを決意した。

ここに、第67回関東甲信越地区小学校長研究協議会新潟大会の総意に基づき、次の事項を決議し、その実現を期する。

記

- 一 「生きる力」を育む教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一 学校の危機管理・安全管理の徹底と、防災教育の推進
- 一 いじめを許さない心の育成等、道徳教育を中核に据えた心の教育の充実
- 一 自己改革と資質向上に努め、確かな指導力と人間力を備えた教職員の育成
- 一 「地域に学び、地域とともに歩む」信頼される学校づくりの推進
- 一 「自立・協働・創造」を基盤とした学校経営の工夫・改善・充実

以上、宣言する。

平成27年6月11日

第67回関東甲信越地区小学校長研究協議会新潟大会